

令和 2 年度

社会福祉法人 清風会

日向市立養護老人ホーム ひまわり寮

事業経過報告書

重点目標実績報告

令和2年度の重点目標

◎『安全』

- ・毎日のミーティングや事故報告書の検討会・ケアカンファレンス等において、利用者の状況の変化を共有し、対処法を検討した。時には、理学療法士等の専門知識ももらいながら当施設で行える範囲で処遇の変更や居室・歩行補助具などの変更を行った。
- ・ご利用者の身体機能の低下や精神疾患を抱えた方とのかかわり方において、職員の身体的・精神的な負担も多々見られる。特に直接支援する介護職員へのストレスについては、ケアの重要性が増している。

◎『礼儀たしな』

- ・挨拶・身だしなみはしっかりと行っている。言葉遣いについては、継続して気を付けているが、些細な言葉や態度をきっかけにご利用者から不満が出る事もあった。説明不足や言葉足らずが原因の事が多く、限られた時間の中で、ご利用者にしっかりと理解してもらえらる事の難しさを感じる。今後も接遇に対して意識をもって仕事に当たる事が必要であり、定期的に接遇について振り返りが出来る様な機会を作る必要あり。

◎『効率』

- ・自分の勤務時間内に仕事が終わる様取り組めている。また、各職種が連携し、スムーズに調整や処遇につなげているが、伝言不足・確認不足もある。周知徹底の方法についてさらに見直しが必要。

◎『毎日が笑（SHOW）』

- ・大部分の利用者は笑顔で過ごせている。コロナ禍において、家族や友人との面会機会が減少した事、外出や行事なども中止となり、ストレスの多い一年となった。その中でもご利用者に笑顔や楽しみを提供したい、と職員もできる事を検討し提供した。ご利用者の多くにはご理解を頂けているが、ご利用者同士の些細なトラブルは多い。特に特定のご利用者同士のもめごとが多く、お互いに印象が悪い事も影響していると思われる。

【施設サービスの質の向上】

- * 新規施設利用者に関しては、新型コロナの影響が大きく、在宅からの入所については慎重に検討を重ね見送る事が多かった。結果病院入院中の方の入所のみとなり、年間の入所者数が減少する結果となった。入院中・入所中の希望者は、身体状況が養護では対応困難な方も多く、また基礎疾患もかなり影響した為、スムーズには進まなかった。
- * 継続入所者に関しては、ADL及び認知症等の維持改善に努めるとともに、疾患の状況等に関して日々の経過観察及び主治医連携に努め体調管理を行った。また利用者の意向を出来るだけ尊重しながら笑顔で元気に生活できるよう支援を行った。
- * 退院前のご利用者については、入院先の病院関係者とカンファレンスや連絡を密にとり、スムーズに施設復帰が出来るようにした。状況はご家族にも随時連絡し、退院後の状況等も連絡を入れた。

- * 養護一般利用者については生活支援の向上に繋げられる自立支援計画を作成し支援を行った。
- * 特定施設の利用者に関しては、生活ニーズに基づく施設サービス計画の作成及びサービスの提供を行わない自立支援へのサポートを行った。

【職員の資質向上】

- * 接遇に関して職員会議等を活用し求められる姿勢についての研修を行った。
- * 統一されたケアを行うため、申し送りや各種会議等での職種間の連携を強化し、全員で取り組み、達成させる組織作りに励んだ。申し送り不足等があるため、連携の仕方について検討が必要と思われる。
- * 外部研修の多くが中止となったが、オンライン研修がある物は参加を行った。
- * 介護支援専門員・介護福祉士の資格取得サポートを行った。（合格者なし）

【入退所調整業務】

- * 1 か月平均入所者数：58.17 人（月平均入院者：1.42 人）新規入所がスムーズに受け入れが出来なかった為、退所者数が新規入所者数を上回り空床が続いた。
入院者については、様子・主治医の意向などをこまめに行政へ報告した。病状が重く、入院当初から施設復帰が見込めない利用者もいる状況だった。

実践事項

1, 相談援助

- * 家族との連携 : ◎広報誌の発送に合わせてご利用者の生活状況を身元引受人へ報告した。面会制限があり、オンラインでの面会が出来るように準備を行った。状態の変化が著しい方や健康診断にて異常があった利用者には、その都度ご家族へ状態報告を行った。
◎身元引受人の高齢化もあり、新たな引受人が必要となる事案があるが、遠戚等に当たる場合も多く、きちんと引受人が決まっていない利用者が数名おられる。経過については行政と相談を随時行っている。
- * 相談援助 : 「なんでも相談日」にて金銭面の相談・施設等への要望・今後の不安など傾聴し、必要に応じて家族や行政など関係機関へつなげた。金銭管理について家族と入所者本人の意見が分かれる事案があり、現在行政も交えて調整中である。

2, 日常生活介護

◎『利用者の人権を尊重し、能力に応じ自立した生活を支援します』

入浴 : プライバシーに配慮し、見守りや介護を行い常に安心して入浴が行えるような支援を行った。入所者自身が順番を把握できるようボードで掲示・繰り返しの声掛けを行った。介護においては自立を促し、出来ない箇所の支援を心がけた。
入浴時には全身状態の確認を行い皮膚疾患や転倒等痕跡の確認を実施した。
皮膚疾患について、軟膏や保湿剤を定期的に塗布し改善に努めた
入浴日 月・水・金曜日（女性）／ 火・木・土曜日（男性）

- * 排泄 : 排泄チェック表の活用・職員間の連携をより充実させ、排泄の声掛け・支援が過不足なく実施し、気持ちの良い排泄につなげた。
いろいろな紙パンツや尿取りパットを試し、ご利用者の状態のあった物を使用した。
排便確認等も行い排便困難者に関しては、水分摂取・歩行や軽運動の促進、緩下剤等にて調整を行うとともに、日頃より十薬茶服用等にて調整を実施した。
個別負担ではあるが、ヤクルトを常用する事で排便状況が改善した利用者もいた
- * 更衣 : 時期に合わせ衣類や寝具の衣替えを支援し、日頃の服装に関しても重ね着をしている方に重点的に声を掛け気温に合った装いが出来る様支援した。
衣類の修繕や買い替えなど日ごろより利用者の様子をうかがい、行事の際はおしゃれ着と一緒に選んだり、趣味嗜好にそった衣類を購入する事で利用者とのコミュニケーションの場となった。
- * 移動 : 利用者の移動に関しては日常の歩行状況等を確認するとともに、廊下・食堂・浴室等の安全性を十分考慮し下肢筋力低下防止に努めた。また必要時には歩行器や車椅子等を有効的に活用し自立支援に努めた。転倒の防止の観点から履物にも注意し、介護業者等と連携しながら対応に努めた。日中のフリーな時間を利用し、廊下での歩行運動や立位保持訓練など必要に応じて実施した。

3, 日常生活の支援

◎『ご入所者の自尊心を大切にし、安心感を高める』『丁寧なコミュニケーションを意識する』

- * 個々の状況を把握し個別のニーズに応じられるような支援を行った。
 - ・ 利用者個々へ傾聴・受容・共感的理解を示し良好な援助関係が築かれるよう努めた。
 - ・ 利用者の意思を尊重するとともに、自由に発言できる環境や自主性が発揮できるような支援を実施しながら、集団生活がスムーズに送れる様に周りの利用者との調整も行った。
 - ・ 利用者個々の日常生活動作等を把握し、適切な介助方法（支援）で利用者の能力の維持・向上を図った。
 - ・ 居室の清掃確認等を定期的に実施し衛生を保てるように支援した。
個々の要望を伺い、買い物の代行をおこなった。
 - ・ ご利用者それぞれの好みを把握し、コミュニケーションのきっかけとした。精神疾患をお持ちのご利用者の中には、特定の職員に固執するケースもあり、他の職員と協力し適度な距離を保ちながら支援できる様にした。

4, 介護予防

- * 体操やクラブ活動、レクリエーション等を通じ運動機能や口腔機能の向上及び認知症の予防・進行防止に努めた。コロナ禍であり、外部講師による舞踊・音楽療法は中止となる月が多かった。その分個

別リハビリ・マッサージ・カラオケ・DVD鑑賞・工作等の施設内で行える物を提供した。

毎週水曜日の午後には、音楽に合わせて施設内の歩行運動や体操を行い、身体機能の維持を図った。

- | | | |
|---------------|--------------------|-------|
| ・ 朝のラジオ体操及び合唱 | 月曜日～金曜日 | 全体朝礼時 |
| ・ 介護予防体操 | 火・木・土曜日 | おやつの後 |
| ・ 口腔体操 | 毎日 | 昼食前 |
| ・ 各種クラブ活動 | 舞踊・音楽療法・カラオケ・園芸・工作 | |
| ・ 機能回復訓練 | 月1回 | |
| ・ 歩行運動 | 毎週水曜日 | おやつ後 |
| ・ 個別リハビリ | 随時 | |
| ・ 脳トレ（プリント） | 不定期 | |
| ・ ナビウエーブ | 不定期 | |
| ・ 自転車ペダル漕ぎ | 不定期 | |

5. 健康管理

- * 利用者の健康状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療に努めた。
 - ・ 健康診断実施（4月・10月）
 - ・ 瀧井病院・治田歯科・やまうち泌尿器科 定期往診
- * 医師・薬剤師の指導のもと適切な服薬・配薬管理を行った。
 - ・ 受診結果や処方内容について、適切な申し送りをした
 - ・ 内服自己管理利用者をモニタリングし、内服忘れを予防・状況に応じて変更。
- * 感染症マニュアルをもとに季節性インフルエンザ・ノロウイルスその他の予防に努めた。
新型コロナウイルスに関する研修やガウンテクニックなどの手技、ゾーニングやマニュアル作成など発生に対応する協議をすすめた。
 - ・ インフルエンザ予防接種（10月23日）
 - ・ 肺炎球菌予防接種（
 - ・ 食前の手洗いの励行
 - ・ 施設内の消毒施行（ジアッシュの散布を必要に応じ1～2/日・人が多く集まる場所にジアッシュの噴霧器設置）
 - ・ 入浴前検温（利用者）・出勤前検温（職員）の実施

6. 栄養管理

- * 栄養バランスや献立内容・味付けのほか身体的条件に応じた食事形態等を考慮し、季節感のある家庭的な雰囲気です食事を提供した。
- * 食事摂取量の向上を図るため、利用者の食べたい物を伺い献立へ反映した。
 - ・ 栄養指導の実施 過体重・低体重・高血圧・糖尿病など対象者への個別指導
 - ・ 衛生管理の徹底 調理室・倉庫の清掃・消毒の定期実施、害虫駆除、検便特に気になる点を月間目標として、一人ひとりが清潔に対して意識を高く持つように取りくんだ。
 - ・ 嗜好調査及び個別対応 嗜好調査の実施、個別聞き取り

- ・ その他 各種研修会への参加、行事食の充実、適時・適温給食の実施

以前より昼食のメニュー紹介を調理員が行っている。ただメニューを伝えるだけでなく、一言付け加えたり、利用者の食べる様子をよりよく観察しながらコミュニケーションをとる場としており、調理員と利用者の距離感も近くなってきている。

7, 事故防止

- * 職員個々の意識及び知識を高めるとともに小さな気付きを職員相互で共有し事故防止に努めた。
 - ・ 事故報告書・ヒヤリハット報告書
 - ・ 事故対策委員会
 - ・ 車いす・杖・歩行器・シルバーカーの定期点検
 - ・ 市町村役場等との連携
- * 事故発生時には家族及び医療機関との連携を取り適切な対応を行った。
- * 職員の業務時間帯・内容と見守りが手薄になる時間帯を検討・調整し、見守りの充実をはかり事故防止につなげた
- * 施設外へ無断で外出した利用者が警察に保護される事案が発生したため、見守り体制の見直しと「SOSネットワーク」への登録を行った。

8, 苦情への対応

- * 苦情受付から解決までの体制整備を図り、利用者や家族等が苦情を申し出やすい環境整備に努めた。
 - ・ 面会時等での家族との定期的面談
 - ・ 自治会及び日常生活の中での利用者からの聞き取り
 - ・ 気付きノートの作成、なんでも相談日に個別に聞き取り
 - ・ 苦情解決委員会の開催 ・ ご家族からの意見を伺う

9, 社会活動の参加と地域交流

- * 施設外活動・地域との交流については、新型コロナウイルス感染予防によりほぼすべての予定は中止となった。

農業小学校の芋の苗植えは3名の利用者と職員が参加し、一緒に苗植えを行った。

秋の芋ほりは一緒に行う事は出来なかったが、芋をたくさんいただき、焼き芋にいただいた。

10, 環境美化・防災対策

- * 環境整備に関しては常に清潔を保ち利用者が快適で安全に生活が送れるよう維持管理に努めた。
 - ・ 環境美化委員会の取り組みにて
 - ・ 日常の清掃・消毒等
- * 防災対策としては日常の防災設備の整備・点検の実施・緊急時の連絡対策の整備を図るとともに、災害時には適切な判断・対応が出来るよう消防計画に基づき防災訓練を毎月する予定であったが、国の緊急事態宣言や県北域のコロナ感染状況をみて、集団で集まる事が懸念される月は中止とした。

1 1, 事務管理

- * 資産・備品等の適切な管理と整備
- * 適切な管理による経費削減
- * 環境整備の強化
- * 車輛運行の安全管理
- * 防災対策への強化

1 2, 施設設備等

- * 消防用設備定期点検
- * 防犯赤外線センサー・カメラ設置
- * 低濃度オゾン発生装置（コロナ感染予防対策）
- * 竹寮談話室テレビ

《行事・催し物》

令和2年度

月 日	内 容	特 記 事 項
4月6日	花見（矢野産業）	利用者4名
4月7日	花見（矢野産業）	利用者6名
4月9日	花見（矢野産業）	利用者5名
4月16日	誕生会・ミニコンサート	
5月3日	DVD鑑賞	
5月4日	DVD鑑賞	
5月8日	母の日（カーネーション）・工作	
5月12日	クッキング（コロケつくり）・工作	利用者15名参加
5月14日	工作	
5月19日	生け花	利用者21名参加
5月21日	誕生会	
5月22日	園芸	
5月28日	芋の苗植え（農業小学校と一緒に）	利用者3名
6月8日	ラッキョウつくり	
6月11日	おやつ作り（豆腐の白玉だんご・アイス）	
6月15日	工作	
6月18日	誕生会	
6月25日	レクリエーション	
6月26日	工作	
7月2日	カヤシマ衣料品販売	
7月8日	しそちぎり	
7月9日	誕生会	
7月14日	音楽療法	
7月16日	機能回復訓練	
7月17日	靴の展示販売	
8月13日	DVD鑑賞	
8月16日	DVD鑑賞	
8月18日	DVD鑑賞・工作	
8月19日	工作	
8月20日	誕生会	
8月27日	喫茶の日	
9月17日	敬老祝賀会・誕生会	
10月1日	機能回復訓練	
10月5日	工作	
10月15日	誕生会・夕涼み会	

10月22日	舞踊教室	利用者55名
10月23日	インフルエンザ予防接種	
10月30日	出前	
11月4日	園芸	
11月5日	衣料品販売	
11月10日	焼き芋	
11月11日	園芸	
11月12日	機能回復訓練・出前	
11月19日	誕生会	
11月26日	舞踊	
11月27日	出前	
12月 3日	機能回復訓練	
12月 8日	出前	
12月10日	大掃除	
12月15日	出前	
12月17日	誕生会・クリスマス会	
12月21日・22日	冬至・ゆず湯	
12月31日	DVD鑑賞	
1月1日・3日・5日	DVD鑑賞	
1月14日	機能回復訓練	
1月18日	初詣（八幡神社）	利用者6名
1月20日	初詣（大御神社）	利用者6名
1月21日	誕生会	
1月22日	出前	
1月29日	DVD鑑賞・出前	
2月4日	機能回復訓練	
2月12日	DVD鑑賞	
2月17日	工作	
2月18日	誕生会	
2月24日	DVD鑑賞	
2月26日	出前	
3月2日	音楽療法	
3月11日	機能回復訓練	
3月18日	誕生会	
3月19日	彼岸供養	
3月23日	喫茶の日	
3月24日	花見（矢野産業）	
3月25日	舞踊教室	利用者10名

《 上記以外 》

・ カラオケクラブ	1 回／月	・ 工作クラブ	不定期
・ 舞踊クラブ	1 回／月	・ 機能回復訓練	1 回／月
・ 音楽療法	1 回／月	・ 売店	1 回／週
・ 屋外散歩等歩行訓練	随時	・ 屋外園芸活動・個別リハビリ	不定期
・ 自治会総会	1 回／月	・ 体重測定・血圧測定	1 回／月

外部研修参加状況

令和2年度

月 日	内 容	参 加 職 員
8月7日	介護福祉士実務者研修	介護職員（甲斐）
8月21日	介護福祉士実務者研修	介護職員（甲斐）
8月28日	介護福祉士実務者研修	介護職員（甲斐）
9月9日	介護福祉士実務者研修	介護職員（加行）
9月11日	介護福祉士実務者研修	介護職員（甲斐）
9月11日	社会保険制度講習会	事務長
9月16日	介護福祉士実務者研修	介護職員（加行）
9月18日	介護福祉士実務者研修	介護職員（甲斐）
9月23日	ケアマネ実務者研修	介護職員（関口）
9月25日	介護福祉士実務者研修	介護職員（甲斐）
9月30日	介護福祉士実務者研修	介護職員（加行）
10月7日～8日	職場研修担当者養成研修	介護職員（鈴木）
10月7日	ケアマネ実務者研修	介護職員（関口）
10月8日～9日	介護福祉士実務者研修	介護職員（甲斐）
10月11日	介護支援専門員 試験	介護職員（根之木・米良）
10月14日	介護福祉士実務者研修	介護職員（加行）
10月21日	介護福祉士実務者研修	介護職員（加行）
10月23日	ケアマネ実務者研修	介護職員（関口）
10月26日	エンドオブライフケア研修	介護職員（根之木）
10月29日	給食施設栄養管理研修会	栄養士（小野）
11月3日～4日	ケアマネ実務者研修	介護職員（関口）
11月10日～11日	介護福祉士実務者研修	介護職員（加行）
11月17日～18日	キャリアパス対応生涯研修（チームリーダー）	計画作成担当者（川野）
11月18日	介護福祉士実務者研修	介護職員（加行）
令和3年1月31日	介護福祉士 試験	介護職員（加行）
3月1日	介護報酬改定にかかる研修	事務長・計画作成担当者

各委員会活動報告

【事故対策委員会】

◎事故報告書・ヒヤリハットについては月１～２回を目安に検討会を実施。早急に対応が必要な件については、早急に検討会を実施した。

(まとめ)

◎コロナ感染予防対策の為、様々な行事が中止となった。特に非常事態宣言が出ている間や県北域の感染者増加時期は、ラジオ体操・口腔体操等も中止となり、利用者の活動量の減少に影響が大きかった。個別リハビリや毎週水曜日の歩行運動を習慣化する事で下肢力維持を図るが、全体的には低下したと思う。

◎事故件数全体（１４４件）のうち、半数（７８件）が５名の利用者が占めていた。身体機能の低下が著しい利用者は事故件数も増加傾向となるため、施設内で行える生活リハビリが重要。そのリハビリを実施できる人材と知識が必要。

◎無断離設をし、警察に保護された方がいた。見守り方法の検討と地域の見守り支援を得る為「ＳＯＳネットワーク」へ登録を行った。

【苦情解決委員会】

苦情受付：０件

◎コロナ感染予防対策の為、多くの行事や外出の機会の減少、家族や友人との面会がなくなった事で利用者のストレスがかなり溜まっていたと思います。少しでも解消できる様に、食事の面で「出前」「パンの選択食」「おやつ作り」「喫茶の日」を設けた。特にパンは１５種類程度から選べた事もあり、とても喜んでおられた。

◎利用者同士の些細な事によるトラブルが多かった。お互いに悪印象を持ち、その後も事あるごとに口論に発展していた。その都度お互いに助言を行うも、１名は無断で出ていき、所轄市町村の担当者や家族を交えた話し合いをする事になった。

その他、職員が自分にだけ挨拶をしない、私の事が嫌いなのでは？等の不満も聞かれたが、朝のミーティング等において報告・検討し、利用者とのコミュニケーションを深める様に努めた。

◎四半期ごとに「なんでも相談日」を設けており、体調面・金銭面・将来について・家族について・施設生活における困り事や不満を伺っている所である。

相談日や自治会において利用者からでた意見は職員会議や企画会議等で検討し、処遇に反映している。自治会での要望は、食に関する事が多く見られた。

【ご利用者の生活を豊かにする委員会】

R2年 5月 1日

R2年 9月12日

R2年 10月27日

R3年 2月25日

～ 今年度の取り組み～

- ① 出前で食事を楽しんでいただく
- ② 施設環境の点検・美化・啓発・屋外クリーンアップ活動
- ③ 利用者の声の代弁

《まとめ》

- ① 出前は全員が参加されて、普段の給食とは違う食事に喜ばれる方もいれば、普段よりも食事摂取量が増える方もいてよかった。普段は柔らかいご飯を食べている方も出前になると普通の硬さになるため、咽込む方も数名おられたので、ゆっくりと摂取して頂く事や見守り体制に注意を払った。
- ② 定期的に点検を行い、座布団は定期的に交換したり洗濯し清潔をた持つことができた。花壇の整頓は時間を作る事が難しく、花つくりの好きな利用者に頼る場面もあった。
- ③ なんでもノートの記入量は少なかったが、やはり食べ物に関する要望が多く見られた。

【働きやすい職場づくりを検討する委員会】

R2年 4月28日

R2年 10月5日

R3年 2月26日

《今年度の取り組み》

笑顔で挨拶する。ハウレンソウをしっかりと行う。

《まとめ》

意識して笑顔で挨拶をする事が出来た。

ハウレンソウは、それぞれの部署において適切な時間を見直し、徹底する事が出来たと思う。

【危機管理委員会】

R2年 4月 28日

R2年 7月 28日

R2年 10月 27日

R3年 2月 26日

～今年度の取り組み～

《今年度の取り組み》

- ① BCPを作成する。
- ② 必要物品をそろえる。周知徹底。

9月の大型台風に備えて事前に職員が待機するなどの早めの対応をとる事が出来た。

今後も早めに対応をとる様にしたい。

自然災害だけに限らず、疾病に対するBCPも必要である為、今後も継続して委員会を設置する

【感染症対策委員会】

R2年 5月21日：新型コロナウイルスに関する施設対応（行事など）

R2年 7月27日：新型コロナウイルスに関する施設対応（日向市内発生に伴う）

R2年 11月19日：新型コロナウイルスに関する施設対応

R3年 3月18日：新型コロナウイルスに関する施設対応

◎研修

R2年 7月 9日

【高齢者施設の感染症対策&新型コロナウイルス感染症対策】

日ごろからの感染予防対策、初期対応が施設内の蔓延に関してとても重要。

その時になって慌てない様に、事前に物品や必要書類を作っておくこと。

また、ハイリスク者は誰なのかなど、把握しておくことも重要である。

R2年 8月 28日 【ガウンテクニック研修会】

瀧井病院にて勉強会に参加した職員からガウンテクニックを伝達してもらう。

清潔・不潔をきちんと意識して着脱する。一つ終わるごとに消毒をする事も大切。

R2年 10月22日

【高齢者施設における新型コロナウイルス感染予防】

～正しい知識とケアの方法で高齢者を守ろう～

高齢者の介助は密接になるため、マスク・消毒・手洗いなどの基本的な予防対策をきちんとする事が最も重要。利用者の精神的負担が増えすぎない様な配慮も必要。

【給食委員会】

毎月実施

◎ 清潔に関する事、業務に関する事など『月間目標』としてより意識を持ち、翌月評価を行った。

内容は今までも取り組んでいた事が多かったが、『目標・評価』とする事でより意識し取り組む事が出来た

◎ 毎週売店があるが、パンを購入しお昼ご飯にパンを食する方多かったこともあり、12月にパンの選択食を行った。15種類程度のパンから選ぶ事ができ、好評であった。

おやつ作りとして豆腐を使ったアイスや夕食に提供するためのコロッケを作った。

女性利用者が意気揚々と作業をされていた。

◎ 積極的に旬の食材を取り入れ、誕生会では普段はあまり提供できない刺身等の献立をたてた。

◎ 体調や嚥下機能に応じた食事形態を提供し、安全にかつおいしく食べて頂ける様工夫した

◎ 健康診断等で異常値が出ている利用者に対しては医師・看護職員と連携し、補助食品や食事の工夫など、食事面でできる健康対策を実施した。

◎ 毎食時にメニュー紹介を行い、食事の様子観察を行いながら利用者の嗜好の把握やコミュニケーションをとる機会となった。

◎ 自治会や嗜好調査で出た意見を参考に新しいメニューの提供も行った。

◎ 調理器具の適切かつ丁寧な取り扱いを行い、事故防止に努めた。

◎ 消費期限が近付いた非常食を給食に取り入れて食べて頂いた。すきやき丼は味も良くご利用者

にも好評だった。

【身体拘束廃止委員会】

委員会 R2年4月21日

R2年7月20日

R2年11月19日

R3年3月18日

研修会 R2年 5月26日 【身体拘束の種類について】

R2年10月29日 【身体拘束せずに事故を防ぐ方法】

◎身体拘束には直接身体を拘束する(見える拘束)とスピーチロックなどの言葉や態度による拘束(見えない拘束)がある。養護においては、見える拘束よりも見えない拘束へより注意を払い、理解を深めていく事が必要だと感じる。

◎不適切なケアから身体拘束につながる事を理解する事が、職員みずからの普段のケアを見直すきっかけになった。ケアの工夫。どうやったら改善できるのか、という事を組織全体で検討していく事が必要。

【施設内研修・会議実施状況】

月 日	実 施 内 容	特 記 事 項
4月1日～2日	新入職員オリエンテーション	
4月 7日	事故報告書検討会	
4月 21日	企画会議・身体拘束廃止委員会	
4月 23日	サービス担当者会議・ケアカンファレンス	
4月 28日	職員会議	
5月 7日	事故報告書検討会	
5月 21日	企画会議・感染症委員会・サービス担当者会議	
5月 26日	職員会議・身体拘束廃止研修会	
6月 2日	事故報告書検討会・レクリエーション委員会	
6月 4日	ケアカンファレンス	
6月 18日	企画会議	
6月 23日	サービス担当者会議	
6月 25日	職員会議	
7月 7日	事故報告書検討会・入所前カンファレンス(M氏)	
7月 9日	感染症研修会	
7月 10日	退院前カンファレンス(和田病院)	
7月 20日	企画会議・身体拘束廃止委員会	
7月 21日	サービス担当者会議	

7月 27日	感染症委員会	
7月 28日	職員会議	
8月 6日	事故報告書検討会	
8月 18日	ケアカンファレンス	
8月 20日	企画会議	
8月 24日	サービス担当者会議	
8月 25日	職員会議	
8月 28日	サービス担当者会議・ガウンテクニック研修	
9月 8日	ケアカンファレンス	
9月 17日	企画会議	
9月 24日	職員会議	
9月 29日	事故報告書検討会	
10月 6日	事故報告書検討会	
10月 8日	ケアカンファレンス	
10月20日	サービス担当者会議	
10月22日	感染症研修会	
10月27日	職員会議・各種委員会	
10月29日	身体拘束廃止研修会	
11月19日	身体拘束廃止委員会・感染症委員会	
11月26日	サービス担当者会議・事故報告書検討会	
12月 8日	事故報告書検討会	
12月14日	ケース会議（市役所にて）	
12月22日	企画会議	
12月24日	職員会議	
12月28日	ケースカンファレンス	
1月 7日	事故報告書検討会	
1月18日	ケアカンファレンス	
1月19日	サービス担当者会議	
1月21日	企画会議	
1月26日	職員会議	
1月28日	伝達研修	
2月 8日	事故報告書検討会・ケアカンファレンス	
2月18日	企画会議	
2月25日	職員会議	
3月 9日	事故報告書検討会	
3月18日	企画会議・感染症委員会・身体拘束廃止委員会	

3月30日	職員会議	
-------	------	--

その他の会議

- ◎職員会議 : 1回 / 月
- ◎企画会議 : 1回 / 月
- ◎サービス担当者会議 : 1回 / 月
- ◎自治会総会 : 1回 / 月
- ◎ケアカンファレンス : 随時開催（ミーティング）

【運動会実行委員会】

新型コロナにより、運動会は中止し、6月にレクリエーションを開催。希望するご利用者のみの参加であったが殆どのご利用者が参加され、食堂でワイワイと楽しく過ごせた。

【納涼祭実行委員会】

新型コロナにより中止。10月15日に誕生会をかねて夕涼み会を開催した。毎年楽しみにされている鮎や焼肉を提供。屋台を意識したミニゲームにも殆どのご利用者が参加された。と思う。

【敬老祝賀会】

来賓を招く事は出来なかったが、ご利用者・職員のみでお祝いした。職員が2グループに分かれて、ひょっとこ踊り・山本リンダの踊りを披露。なじみの職員の踊りにご利用者も大変喜ばれた様子だった。

※ 各行事の後に広報誌を発行し、ご家族・関連機関へ発送した。

遠方のご家族や面会の機会が少ない方等へは相談員や看護師より情報書を添えて最近の状態や気になる点について報告を行う事で、その後の面会や相談に繋げることが出来た。

また、虐待対応中のご家族で新聞への写真掲載が出来ない方については、別で写真を添える事で状況の報告を行った。面会が中止になった事からオンラインで面会を準備した。

(5) 地域等との交流状況 (令和2年度)

体験学習・実習・視察等 施設来寮状況

月 日	団 体 名	特 記 事 項
8月28日	日向市福祉課 生活保護係聞き取り	対象者4名
11月10日	延岡市 現況調査	対象者1名

社会福祉施設に係る指導監査及び実地指導

月 日	内容	主な検査項目	備考
5月22日	内部監査	令和2年度会計及び事業監査	

慰問・ボランティア・地域交流実績

月 日	団 体 名	特 記 事 項
5月28日	農業小学校	芋の苗植え(3名参加)

防災研修会実施状況

令和 2 年 度

日時	火点等	参加者
4月	緊急事態宣言中につき中止。点検実施	
5月 7日	医務室より出火（夜勤想定）	利用者 49名 職員 18名
6月 4日	松15号室より出火(夜勤想定)	利用者 50 名 職員 16 名
7月 16日	給湯室より出火（夜勤想定）	利用者 53 名 職員 14 名
8月	コロナウイルス感染予防対策につき中止	
9月10日	支援室より出火（夜勤想定）	利用者 56名 職員15名
10月29日	洗濯室より出火(夜勤想定)	利用者54名 職員 16名
11月12日	医務室 より出火(夜勤想定)	利用者 54 名 職員 16 名
12月3日	警備員室より出火(夜勤想定)	利用者 52 名 職員 14 名
1月14日	松寮1号室より出火(夜勤想定)	利用者55名 職員14名
2月4日	事務所より出火	利用者 45名 職員17名
3月4日	理容室より出火(夜勤想定)	利用者 50 名 職員 17 名

令和2年度 入退所状況

入 所 者				退 所 者			
入所年月日	性別	年齢	入所前	退所年月日	性別	年齢	退所後
R2. 7. 13	男	74	医療機関	R2. 6. 2	女	69	医療機関
R2. 12. 1	女	89	医療機関	R2. 6. 16	男	89	医療機関
R3. 3. 31	男	74	医療機関	R2. 7. 4	女	98	死亡
				R2. 10. 6	男	88	医療機関
				R3. 3. 2	男	93	医療機関

入所者状況

令和3年 3月31日現在

【年齢状況】

	65～69	70～79	80～89	90～99	100～	計	最高年齢	平均年齢
男 性	2	9	6	4	0	21	98歳	81歳
女 性	0	4	17	16	0	37	99歳	87歳
合 計	2	13	23	20	0	58	99歳	85歳

【在所年数状況】

	1年未満	1年～ 5年未満	5年～ 10年未満	10年～ 15年未満	15年以上	計	最高在所日数	在所平均年数
男 性	2	11	6	2	0	21	14年9ヵ月	4年7ヵ月
女 性	1	21	13	1	1	37	16年	4年8ヵ月
合 計	3	33	19	3	1	58	16年	4年8ヵ月

【所管別状況】

	日向市	美郷町	諸塚村	延岡市	門川町	合 計
男 性	16	2	2	1	0	21
女 性	33	2	1	0	1	37
合 計	49	4	3	1	1	58

【要介護認定者の状況】

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
男 性	0	0	0	4	0	1	0	5
女 性	0	0	4	2	4	3	0	13
合 計	0	0	4	6	4	4	0	18

【移動状況】

	自 立	シルバーカー	歩行器	車椅子	杖	介助 (車椅子使用含)	合 計
男 性	16	1	1	1	2	0	21
女 性	15	2	1	6	7	6	38
合 計	31	3	2	7	9	6	58

【排泄状況】

	自 立	声かけ誘導	介助 (見守りを含む)	計	尿取りパット 使用	紙パンツ使用 (夜間のみ含)	合 計
男 性	18	2	1	21	0	3	3
女 性	29	0	8	37	11	10	21
合 計	47	2	9	58	11	13	24

【入浴状況】

	自 立	一部介助	全介助	見守り	合 計
男 性	6	10	2	2	21
女 性	4	13	8	12	37
合 計	15	28	10	7	58